

プログラム

一般演題 I 第1会場 2F ホール 9:40～

座長：鈴木 研資（東京大学）

I - 1

当院の切迫早産症例における母体ステロイドの投与タイミング

林 周作（大阪母子医療センター 産科）

I - 2

切迫早産治療薬としてのニフェジピンの薬物動態評価について

村田 晋（山口大学医学部附属病院産科婦人科）

I - 3

当院における modified short-term tocolysis の有用性についての検討

志村 光揮（京都府立医科大学大学院医学研究科女性生涯医科学）

I - 4

当院へ緊急母体搬送となった切迫早産症例の検討

黒岩 征洋（石川県立中央病院産婦人科）

I - 5

分娩時胎児心電図計測時の子宮筋電図による陣痛の抽出と時間的な変化の検討

木村 芳孝（東北大学産婦人科）

I - 6

早産となった例の胎動数に関する研究～FMAM recorder による解析～

鎌田 英男（帝京大学医学部附属病院）

一般演題 II 第2会場 3F 研修室 307 9:40～

座長：熊澤 一真（岡山医療センター）

II - 1

子宮頸管長スクリーニングは早産率低下に寄与しているのか？ - 過剰診断の検討 -

杉井 裕和（国立病院機構岩国医療センター産科婦人科）

II - 2

早産既往症例に対して行う子宮頸管縫縮術における実施時期と
周産期予後との関連について

森田 泰介（国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター）

II - 3

治療的子宮頸管縫縮術（マクドナルド法）の緊急性に関する後方視的検討

漆山 大知（福岡大学医学部産科婦人科学講座）

II - 4

子宮頸管縫縮術の予後関連因子と医療経済的メリットについての検討

小峯 理子（総合母子保健センター愛育病院産婦人科）

II - 5

2度の後期流産を経て子宮頸管無力症と診断され生児を得た一例

藤原 孝史（富山県立中央病院産婦人科）

II - 6

子宮頸管長短縮例における子宮頸管角度(UCA)の早産予測

川端 伊久乃（日本医科大学付属病院女性診療科・産科）

II - 7

自然早産予測のための定量的 placental alpha microglobulin-1 (PAMG-1)検査の有用性

野崎 雄揮（名古屋大学医学部附属病院産婦人科）

一般演題 III

第1会場 2F ホール 10:40～

座長：大井 理恵（東京都立大塚病院）

III - 1

前期破水に対する予防的抗菌薬投与によるウレアプラズマおよび乳酸菌の変化

川口 晴菜（大阪母子医療センター産科）

III - 2

羊水内微生物浸潤・羊水内炎症の非侵襲的検査による予測

山本 亮（大阪母子医療センター産科）

III - 3

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行下における

妊婦の Ureaplasma 及 Mycoplasma 陽性率についての考察

西ヶ谷 温希（昭和大学江東豊洲病院産婦人科）

III - 4

病原体感染を伴わない原因不明早産の免疫学的解析

根岸 靖幸（日本医科大学微生物学免疫学教室）

III - 5

自然免疫系の異常活性化によるマウス流産の誘導

－無菌性炎症に起因する早産へのメカニズム考察－

根岸 靖幸（日本医科大学微生物学免疫学教室）

III - 6

炎症性サイトカイン IL-18 による新しい早産防止のメカニズム

堀井 裕美（日本医科大学微生物学・免疫学教室）

座長：伊東 麻美（弘前大学）

IV-1

当科における頸管長短縮例に対する頸管ペッサリーの使用経験

今井 紀昭（宮城県立こども病院産科）

IV-2

頸管ペッサリーの活用を追加した、当院における頸管短縮症例に対する管理方針

徳田 諭道（国立病院機構小倉医療センター産婦人科）

IV-3

子宮頸管短縮症例に対する子宮頸管ペッサリーの使用経験とペッサリーが子宮頸管長に及ぼす影響

熊澤 一真（独立行政法人国立病院機構岡山医療センター産婦人科）

IV-4

妊娠初期に使用した子宮頸管ペッサリー装着後に感染性流産となった1例

新田 慧（東京都立墨東病院産婦人科）

IV-5

子宮の器質的異常による黄体ホルモン製剤の早産予防効果低下の可能性

鈴木 琴音（横浜市立大学附属市民総合医療センター
総合周産期母子医療センター）

IV-6

プロゲステロンの早産予防効果—その作用点と抗炎症効果の免疫学的機序解明—

海渡 由貴（日本医科大学女性診療科産科）

IV-7

頸管長短縮に対するエイコサペンタエン酸内服の早産予防効果の検討

佐藤 真子（国際医療福祉大学成田病院産婦人科）

総会

第1会場 2F ホール 11:40～

ランチョンセミナー

第1会場 2F ホール 12:00～

（共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社）

座長：大槻 克文（昭和大学江東豊洲病院）

「感染対策に留意した帝王切開時の工夫」

演者：西島 浩二（新潟大学）

「悩まなくても良いキズにするために私たちが出来ること」

演者：安村 恒央（JA 愛知厚生連海南病院）

「子宮内感染と早産児の予後」

座長：：米田 哲（富山大学）

演者：吉田 丈俊（富山大学附属病院周産母子センター 新生児部門 教授）

シンポジウム

「Tocolysis 再考, the 2nd.」

座長：田中 幹二（弘前大学）

座長：谷垣 伸治（杏林大学）

長期 tocolysis 肯定派の立場から

1. 「変わるべきもの、変えるべきでないもの」

演者：成瀬 勝彦（獨協医科大学）

2. 「Maintenance tocolysis を行っている施設の産科医が short-term tocolysis に対して抱く懸念」

演者：林 周作（大阪母子医療センター）

長期 tocolysis 否定派の立場から

3. 「short term tocolysis の実際と成果、今後の課題」

演者：鈴木 研資（東京大学）

4. 「過剰診断 ー日本の医療を日本化するー」

演者：杉井 裕和（国立病院機構 岩国医療センター）

一般演題 V

第2会場 3F 研修室 307 14:50～

座長：米田 徳子（富山大学）

V-1

抗菌薬投与直後から母体発熱を伴わない母児双方の高度頻脈を呈した未受診梅毒妊婦の1症例

大井 理恵（東京都立大塚病院産婦人科）

V-2

早産になった梅毒感染合併妊婦健診未受診の一例

山岡 結香（東京女子医科大学病院産婦人科講座）

V-3

妊娠26週で陣痛発来し、緊急帝王切開術を施行したFontan手術後妊娠の症例

渡辺 智之（東京女子医科大学産婦人科学講座）

V-4

高度炎症によって妊娠継続が困難となり後期流産に至った子宮腺筋症合併妊娠の一例

草開 妙（富山県立中央病院産婦人科）

V-5

妊娠中の子宮頸管ポリープ切除に関する後方視的検討

福原 健（倉敷中央病院産婦人科）

V-6

当院におけるフィブロネクチンと早産リスクの検討

佐藤 雄翔（福島県立医科大学産婦人科講座）

一般演題 VI

第2会場 3F 研修室 307 15:50～

座長：鎌田 英男（帝京大学）

VI-1

当院における東日本大震災時に思春期であった切迫早産症例の後方視的検討

岡田 有加（岩手県立宮古病院産婦人科）

VI-2

後期流産既往複数ある妊婦がコロナ禍で長期入院の結果、正期産で出産となった1症例

峯尾 アヤ（昭和大学江東豊洲病院 周産期センター女性外来）

VI-3

妊娠25週の完全破水後、妊娠35週まで妊娠継続した1例

山本 健太（富山県立中央病院産婦人科）

VI-4

リトドリン塩酸塩の使用により重篤な有害事象を生じた2例

山根 尚史（独立行政法人国立病院機構呉医療センター・
中国がんセンター 産婦人科）

VI- 5

虚血性胎盤疾患(IPD)が超早産児の新生児合併症に与える影響

有吉 悠 (東京大学医学部附属病院女性診療科・産科)

VI- 6

開腹法による経腹的子宮頸管縫縮術 up date : 手術侵襲を低減する新たな工夫

桑原 慶充 (日本医科大学付属病院女性診療科・産科)

VI- 7

自然早産における腸内細菌叢の関与 ～マウスモデルによる因果関係の検証～

今井 健史 (名古屋大学医学部附属病院産婦人科)

イブニングセミナー

第 1 会場 2 F ホール 17:00～

(共催 : 東亜薬品工業株式会社)

座長 : 中島 彰俊 (富山大学)

「早産とプロバイオティクス」

演者 : 上塘 正人 (鹿児島市立病院)

閉会式

第 1 会場 2 F ホール 18:00～

情報交換会

とやま自遊館 1 F ホール 18:30～